

備蓄しましょう

自然災害と同様に、武力攻撃やテロなどに発生に際しても備蓄品は役立ちます。

避難するときに持ち出す非常持ち出し品や、数日間を自足できるようにするための備蓄品を備えましょう。



備蓄品の一例

非常持ち出し品

- ✓ 携帯用飲料水
 - ✓ 食品(缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
 - ✓ 貴重品(預金通帳、印鑑、現金など)
 - ✓ パスポートや運転免許証
 - ✓ 緊急用品(常備薬、包帯、消毒薬など)
 - ✓ ヘルメット、防災ずきん
 - ✓ 衣類、下着、毛布
 - ✓ 懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池
- 等

数日間を自足できるようにするための備蓄品(3日分が目安)

- ✓ 飲料水 9リットル(3リットル×3日分)
 - ✓ ご飯(アルファ米) 4~5食分
 - ✓ ビスケット 1~2箱
 - ✓ 板チョコ 2~3枚
 - ✓ 缶詰 2~3缶
 - ✓ 衣類(スウェット上下、セーター、フリース)
- 等

避難所を知っておきましょう

あなたのご自宅や日ごろの行動範囲の周辺にある避難所をあらかじめ確認しておきましょう。

東京都のホームページで、避難施設の所在地を確認できます。

東京都HP URL <https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/torikumi/1000063/1030344/index.html>



国民保護法で規定された避難施設

国民保護法では、東京都をはじめ全国の対象施設について、避難施設をあらかじめ指定しています。

緊急一時避難施設

ミサイル攻撃等の爆風などから直接の被害を軽減するための一時的(1~2時間程度)な避難施設であり、既存のコンクリート造り等の堅ろうな建築物や地下施設(地下街、地下駅舎、地下道等)を想定しています。

武力攻撃や大規模テロなどから身を守るために



武力攻撃・大規模テロとは

国民保護法に基づく国民保護措置の対象となる事態で、「武力攻撃事態」と「大規模テロ等(緊急処理事態)」に大別されます。

武力攻撃事態 わが国に対する外部からの武力攻撃について、次の4つの類型で想定されます。



弾道ミサイル攻撃



ゲリラや特殊部隊による攻撃



着上陸侵攻



航空攻撃

大規模テロ等 武力攻撃に準ずる手段によって多数の人を殺傷する事態で、次のものが想定されます。



原子力発電所や石油コンビナート施設等に対する攻撃



大規模集客施設やターミナル駅等に対する攻撃



核物質入り爆弾等による放射能の拡散等



航空機などによる自爆テロ

いのちを守るための行動

警報が発令されたら

武力攻撃やテロなどが迫り又は発生した地域には、Jアラート(※)などを通じて、携帯電話の緊急速報メールや防災行政無線により、みなさんに注意を呼びかけます。

また、テレビ、ラジオなどの放送や消防の広報車両などを通して、「どのようなことが、どこで発生したのか」、「発生するおそれがあるのか」、「みなさんにどのような行動をとってほしいのか」といった警報の内容をお伝えします。



身の安全を確保しましょう

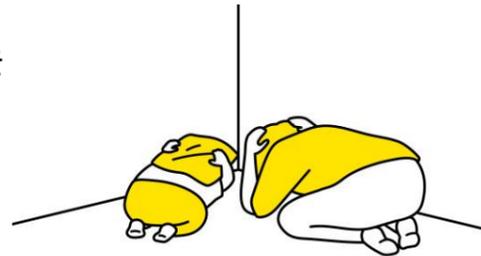
屋外にいる場合

- 近隣の堅牢な建物や地下など屋内に避難しましょう。
- 屋内に逃げられなければ、物陰に隠れ、身を伏せて、頭を守りましょう。
- 自家用車などを運転している場合には、できる限り道路外の場所に車両を止めましょう。車を離れるときは、道路の左側端に沿ってキーを付けたまま駐車するなど緊急通行車両の通行の妨害とならないようにしてください。



屋内にいる場合

- ドアや窓を閉め、ガス、水道、換気扇などを止めましょう。
- ドアや窓、壁から離れ、外の見えない場所に移動しましょう。



落ち着いて情報収集しましょう

警報をはじめ、テレビやラジオなどを通じて伝えられる各種情報に耳を傾け、情報収集に努めましょう。

港区では、Jアラート(※)に基づき、防災行政無線で特別なサイレン音とメッセージを放送するとともに、防災情報メールや港区防災アプリなどを通じて緊急情報が発信するほか、警察や消防による警報が迅速に行われるよう連携をとっていきます。



Jアラート(全国瞬時警報システム)とは

武力攻撃のほか、地震・津波に関して国が発信した緊急情報を、人工衛星等を通じて、緊急速報メールや区市町村の防災行政無線により、国民に瞬時に伝えるシステムです。

避難の指示が出されたら

みなさんの安全を守るため、屋内への避難、区や都を超えた避難など状況に応じて適切な指示が出されます。避難の指示が出された場合は、指示に従って落ち着いて行動しましょう。

自宅から避難所に避難する場合

- 頑丈な靴、長ズボン、長袖シャツ、帽子などを着用し、非常持ち出し品を持参しましょう。
- パスポートや運転免許証など、身分を証明できるものを携行しましょう。
- 元栓をしめ、コンセントを抜いておきましょう。冷蔵庫のコンセントは挿したままにしておきましょう。
- 家の戸じまりをし、近所の人に声をかけましょう。
- 避難の経路や手段などについて行政機関からの指示に従い適切に避難しましょう。



危機に直面したら

急な爆発が起こったら

- とっさに姿勢を低くし、頭などを守りながら安定した姿勢をとりましょう。
- 周囲で物が落下している場合には、頑丈なテーブルなどの下に身を隠しましょう。
- 爆発は複数回続く場合もあるので、安全な場所へ避難しましょう。

閉じ込められたら

- 動き回って粉じんをかき立てないようにしましょう。口と鼻をハンカチ等で覆いましょう。
- 自分の居場所をまわりに知らせるために、配管などを叩きましょう。
- 粉じんなどを吸い込む可能性があるため、大声を上げるのは最後の手段としましょう。

火災が発生したら

- できる限り低い姿勢をとり、急いで建物から出ましょう。
- 口と鼻をハンカチ等で覆いましょう。



ミ サイルが落下したら

- 有毒物質等に備え、屋外では口と鼻をハンカチ等で覆い、密屋内や風上へ避難します。
- 屋内では、換気扇を止め、窓を閉めるなどして室内を密閉しましょう。